

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 105	提案機関名 財団法人相模湾水産振興事業団
要望問題名 酒匂川から流入する濁水が漁場環境や水産資源に及ぼす影響について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成22年9月の台風9号の豪雨により酒匂川から相模湾に流れ込んだ大量のゴミや樹木、草等は海岸や漁港、定置網に漂着し、漁業関係者に甚大な被害をもたらした。 さらに、これらの土砂や樹木、草等は広い範囲で海底や岩礁帯に堆積し、漁業生産活動の障害になっているだけでなく、漁場環境や水産資源に悪影響を及ぼすことが懸念されている。 相模湾の漁場環境や水産資源の保全、回復の取組みの一環として、河川から流れ込んだ大量の泥が周辺海域の漁場環境や水産資源に及ぼす影響について把握する必要がある。 そこで、酒匂川河口ならびにその周辺の沿岸地域の地先において、海水の濁り、海底の堆積物や底質、底生生物、磯根の状況について調査を要望する。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部署	相模湾試験場
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 酒匂川濁流影響調査			
対応の内容等 平成22年9月の台風9号の豪雨による影響については、現在、貴事業団ならびに酒匂川河口漁業対策協議会からの委託により、酒匂川河口及びその周辺海域において底質、底生生物、磯根資源等の調査を行っています。河川から流れ込んだ大量の泥が周辺海域の漁場環境や水産資源に及ぼす影響については長期にわたり把握する必要があると考えておりますので、今後も調査を継続してまいります。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			